

認知症の人と環境研究所（東北工業大学）

東北工業大学では「認知症の人と環境研究所」（バーチャル研究所）を設置しました。本学ライフデザイン学部生活デザイン学科の谷本裕香子先生を所長として、在仙の学外のメンバー（認知症当事者、介護施設運営者、認知症専門医など）も加えた組織とし、認知症の人と、環境を広く考え、情報発信するための基盤・拠点としました。

昨秋、私の科研費研究と研究所の研究とのコラボとして、認知症の人のスマホを使ったまちあるき動画『その優しさは、誰のためなのか Who is this kindness for?』を製作・公開しました。この動画は、2022年9月中旬に学生が、仙台市にある「医、食、住と学びの多世代複合施設－アンダンチ」で、認知症の人を対象に「認知症スマホ教室」と、Googleマップと映像通話を使った「まちあるき」を行った様子をまとめたものです。

動画では、宮城の認知症を共に考える会「おれんじドア」の代表を務め、自身も認知症と診断された丹野智文さんが、認知症になったときの周囲の反応と当事者の希望の違いを語り、学生が認知症の人にスマホの使い方を教える映像と共にITを活用することでどんなメリットがあるか説明しています。また動画内では、認知症の人にとって、いかに物理的な環境が重要か、建物・まちづくりの中での環境要素への意識と配慮の重要性についても触れています。動画は2分程度のショートバージョンと7分程度のフルバージョンがあります。世界中で視聴していただきたいと思い、英語のテキスト字幕もついています。



ショート Ver.



ロング Ver.